



事業名	空家等対策推進事業
-----	-----------

1. 基礎情報

所属		都市経営部		都市政策課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (3)老朽施設の再編とあわせたエリア再生
	款	07	土木費		
	項	03	都市計画費		
	目	01	都市計画総務費	分野別計画	大東市空家等対策計画
	事業	0100	空家等対策推進事業		
分類	I 類事業				
関連するSDGs 17の目標	 				

2. 内容

事業概要（全体）	<p>空家等対策の推進に関する特別措置法及び大東市空家等対策計画に基づき、空家等対策に係る施策を実施する。</p> <p>【実施期間】 令和4年度～令和8年度（5年間）</p>	事業概要（今年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接地等取得費補助事業 ・空家リフォーム補助事業 ・子育て世代空家リフォーム補助事業 ・空家相談会 ・大東市空家管理システムデータ所有者確認業務 ・空家等対策協議会
スケジュール（全体）	<p>令和4年度 空家所有者特定</p> <p>令和5年度 空家所有者特定</p> <p>令和8年度 空家所有者への意識啓発 大東市空家等対策計画の見直し</p>	スケジュール（今年度）	<p>4月～ 大東市空家管理システムデータ所有者確認作業</p> <p>10月 空家相談会</p> <p>3月 大東市空家等対策協議会</p> <p>通年 隣接地等取得費補助事業 空家リフォーム補助事業 子育て世代空家リフォーム補助事業</p>
公民連携の視点	条例要件	<input type="checkbox"/> ア（複数課題解決） <input type="checkbox"/> イ（地域価値向上） <input type="checkbox"/> ウ（地域経済発展） <input type="checkbox"/> エ（公的負担軽減） <input type="checkbox"/> オ（自立的・持続可能）	
	検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・不動産無料一般相談 （全日本不動産協会・大阪府宅地建物取引業協会） ・専門家による空家に関する相談会 （建築士・司法書士・土地建物調査士・NPO団体） 	

3. 事業費等

区分		令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)				
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費						
		役務費						
		委託料	2,420	3,718				
		使用料及び賃借料		25	10			
		工事請負費						
		公有財産購入費						
		備品購入費						
		負担金補助及び交付金	884	2,498	200			
		扶助費						
		補償補填及び賠償金						
		その他	135	377	121			
		事業費計(千円) a	3,439	6,618	331			
	財源内訳	国庫支出金						
府支出金								
市債								
その他			3,718					
うち基金繰入金			3,718					
一般財源	3,439	2,900	331					
人件費	内訳	正職員(人・千円)	1.00	7,919	1.00	7,952	1.00	7,574
		再任用職員(人・千円)						
		任期付職員(人・千円)						
		会計年度任用職員(人・千円)						
		退職手当引当金繰入額		513		650		523
		他課等の協力分						
	人件費計(千円) b		8,432		8,602		8,097	
総事業費 a+b		11,871		15,220		8,428		

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典

(2) 評価指標






指標	指標名	区分	目標年次	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
			目標値					
指標①	補助金の申込件数	成果	令和4年度	件	目標	①5②5③13	①5②3③8	①2②2③6
			①2②2③6			実績	①1②0③2	①1②1③3
	指標の定義	①リフォーム補助金②リフォーム補助金(子育て世代)③隣接地等取得費補助金の交付申込があった件数						
指標②					目標			
					実績			
	指標の定義							
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

5. 総括

自己点検	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
	補助金申込件数は少ないが、令和4年度より空家所有者の確認を行う取組を始めた。今後は、空家の流通促進に向けた取組や情報提供を行っていく。

事業名	まちづくり調査検討事業
-----	-------------

1. 基礎情報

所属	都市経営部		都市政策課		
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (1) 都市構造の改革
	款	07	土木費		2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (4) 都市空間の活用
	項	03	都市計画費	分野別計画	大東市都市計画マスタープラン
	目	01	都市計画総務費		大東市住宅マスタープラン
	事業	0102	まちづくり調査検討事業		
分類	I 類事業				
関連するSDGs 17の目標	    				

2. 内容

事業概要（全体）	令和2～4年度 都市計画マスタープラン・住宅マスタープラン改訂 令和3～5年度 連続立体交差事業基本構想策定 令和3～4年度 東部山地部の活性化拠点施設設置可能性検討 令和3～4年度 住道駅前デッキ基本計画策定 令和4年度 立地適正化計画改訂	事業概要（今年度）	・都市計画マスタープラン・住宅マスタープラン改訂 ・連続立体交差事業基本構想策定 ・東部山地部の活性化拠点施設設置可能性検討 ・住道駅前デッキ基本計画策定 ・立地適正化計画改訂
スケジュール（全体）	・都市計画マスタープラン・住宅マスタープラン 令和2年度 アンケート調査、将来目標の設定 基本方針作成等 令和3年度 全体構想、地域別構想の案作成、 施策展開の検討 令和4年度 パブリックコメント、計画改訂 ・連続立体交差事業基本構想策定 令和3年度 現況調査、鉄道高架化案比較検討 令和4年度 鉄道高架の平面・縦断検討、概算 工事費 令和5年度 費用便益調査、事業効果 ・東部山地部の活性化拠点施設設置可能性検討 令和3年度 東部山地部の活性化基礎調査 令和4年度 調査結果を踏まえた検証 ・立地適正化計画 平成30年1月に策定した立地適正化計画の評価 検証、見直し、防災指針の作成（令和5年3月改訂）	スケジュール（今年度）	4月 都市計画マスタープラン パブリックコメント 住宅マスタープラン パブリックコメント 5月 立地適正化計画改訂業務契約 連続立体交差化基礎調査業務契約 6月 東部山地部の活性化拠点施設設置可能性検討業 務契約 12月 都市計画マスタープラン改訂 住宅マスタープラン改訂 3月 立地適正化計画改訂 連続立体交差化基礎調査業務完了 東部山地部の活性化拠点施設設置可能性検討業 務完了 住道駅前デッキ基本計画策定業務完了
公民連携の視点	条例要件 <input type="checkbox"/> ア（複数課題解決） <input type="checkbox"/> イ（地域価値向上） <input type="checkbox"/> ウ（地域経済発展） <input type="checkbox"/> エ（公的負担軽減） <input type="checkbox"/> オ（自立的・持続可能）	市の玄関口である住道駅前の賑わいを創出し、地域の活性化を図るため 公民連携の手法も含めた駅前デッキの活用方法を検討し、基本計画を策 定する。	

3. 事業費等

区分		令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)				
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費			375			
		役務費						
		委託料	4,928	9,900	31,533			
		使用料及び賃借料						
		工事請負費						
		公有財産購入費						
		備品購入費						
		負担金補助及び交付金						
		扶助費						
		補償補填及び賠償金						
		その他	145	350	152			
	事業費計(千円) a	5,073	10,250	32,060				
財源内訳	国庫支出金							
	府支出金							
	市債							
	その他		8,664	25,460				
	うち基金繰入金		6,595	14,832				
一般財源	5,073	1,586	6,600					
人件費	内訳	正職員(人・千円)	1.00	7,919	2.50	19,880	3.00	22,722
		再任用職員(人・千円)						
		任期付職員(人・千円)						
		会計年度任用職員(人・千円)						
		退職手当引当金繰入額		513		1,625		1,569
		他課等の協力分						
	人件費計(千円) b		8,432		21,505		24,291	
総事業費 a+b		13,505		31,755		56,351		

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典

(2) 評価指標


指標	指標名	区分	目標年次	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
			目標値					
指標①	計画策定の進捗	活動	令和4年度	%	目標	50	100	100
			100		実績	50	75	100
	指標の定義	計画策定の進捗割合						
指標②	【連立】費用便益の算出	活動	令和4年度	%	目標	-	100	100
			100		実績	-	100	100
	指標の定義	業務の進捗割合						
指標③	東部山地部の活性化策の可能性調査	活動	令和4年度	%	目標	-	100	100
			100		実績	-	100	100
	指標の定義	業務の進捗割合						

5. 総括

自己点検	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
	<p>【都市マス・住マス・立適】改訂するにあたり都市計画審議会等の意見を反映することで、社会情勢の変化や市民ニーズの多様化に対応した計画を策定することができた。</p> <p>【東部山地部・住道駅前デッキ・連立】令和3年度から現況調査等の基礎調査を行い、令和4年度は調査結果を踏まえた検討を行った。</p>

事業名	既存民間建築物耐震診断・改修補助事業
-----	--------------------

1. 基礎情報

所属		都市経営部		都市政策課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	1危機管理の徹底 (2)減災の推進
	款	07	土木費		
	項	03	都市計画費		
	目	01	都市計画総務費	分野別計画	大東市住宅・建築物耐震改修促進計画
	事業	0104	既存民間建築物耐震診断・改修補助事業		
分類	I 類事業				
関連するSDGs 17の目標					

2. 内容

事業概要（全体）	<p>大東市住宅・建築物耐震改修促進計画に基づき、耐震化を促進する。</p> <p>【実施期間】 平成28年度～令和7年度（10年間）</p>	事業概要（今年度）	<p>（大東市住宅・建築物耐震改修促進計画）</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐震の個別相談会と展示会を実施し市民へ啓発を行った。 補助事業（耐震診断・耐震設計・耐震改修・木造住宅除却）を継続実施。
スケジュール（全体）	令和7年度 大東市住宅・建築物耐震改修促進計画の見直し	スケジュール（今年度）	7月 耐震の個別相談会・展示会を開催 通年 補助事業（耐震診断・耐震設計・耐震改修・木造住宅除却）
公民連携の視点	<p>条例要件</p> <p><input type="checkbox"/> ア（複数課題解決） <input type="checkbox"/> イ（地域価値向上） <input type="checkbox"/> ウ（地域経済発展）</p> <p><input type="checkbox"/> エ（公的負担軽減） <input type="checkbox"/> オ（自立的・持続可能）</p>	<p>大東市公民連携に関する条例第2条の規定に該当する項目がないため。</p>	
検討内容			

3. 事業費等

区分		令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)				
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費	17	440				
		役務費						
		委託料	1,859					
		使用料及び賃借料	12	9	4			
		工事請負費						
		公有財産購入費						
		備品購入費						
		負担金補助及び交付金	11,665	19,029	15,627			
		扶助費						
		補償補填及び賠償金						
		その他						
	事業費計(千円) a	13,553	19,478	15,631				
	財源内訳	国庫支出金	6,769	9,733	7,772			
府支出金		440	310	631				
市債								
その他								
うち基金繰入金								
一般財源	6,344	9,435	7,228					
人件費	内訳	正職員(人・千円)	1.00	7,919	1.00	7,952	1.00	7,574
		再任用職員(人・千円)						
		任期付職員(人・千円)						
		会計年度任用職員(人・千円)						
		退職手当引当金繰入額		513		650		523
		他課等の協力分						
	人件費計(千円) b	8,432	8,602	8,097				
総事業費 a+b	21,985	28,080	23,728					

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時 平成27年度	目標値 令和7年度	出典
住宅の耐震化	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	80%	95%	大東市住宅・建築物耐震改修促進計画

(2) 評価指標



指標	指標名	区分	目標年次 目標値	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
			令和4年度			目標	実績	目標
①	補助金の申込件数	成果	令和4年度	件	目標	①50 ②10 ③15 ④30	①50 ②10 ③15 ④30	①44 ②6 ③8 ④50
			①44 ②6③8 ④50			実績	①8 ②2 ③2 ④31	①29 ②1 ③1 ④53
	指標の定義	①診断補助金②設計補助金③改修補助金④除却補助金の交付申込があった件数						
②					目標			
					実績			
	指標の定義							
③					目標			
					実績			
	指標の定義							

5. 総括

自己点検	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
	耐震性の不足している木造住宅の所有者に対し除却にかかる補助を実施することにより、地震による人的及び物的な被害の軽減を図ることができた。 なお、耐震診断については、耐震診断後すべての方が耐震改修するに至っていないため、今後も耐震化に向けた啓発を行う。

事業名	三世代家族推進事業
-----	-----------

1. 基礎情報

所属		都市経営部		都市政策課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (3)老朽施設の再編とあわせたエリア再生
	款	07	土木費		5出産や子育ての安心と魅力の創出 (1)個々の価値観に応じた出産・子育ての希望の実現
	項	03	都市計画費		
	目	01	都市計画総務費		
	事業	0105	三世代家族推進事業	分野別計画	
分類	I 類事業				
関連するSDGs 17の目標	 				

2. 内容

事業概要（全体）	<p>三世代の市内居住を支援することにより、親子が相互に支え合い、安心して暮らすことができるよう支援する。</p> <p>【実施期間】 平成27年度～</p>	事業概要（今年度）	<p>三世代の市内居住を目的とした市外から転入した子世帯の住宅取得に要する費用を補助した。</p>
スケジュール（全体）	<p>平成27年度 制度施行</p> <p>平成28年11月 距離要件の緩和及び市内転居の追加</p> <p>平成30年10月 親世帯の市外からの転入を追加</p> <p>令和3年3月 新制度の実施</p>	スケジュール（今年度）	<p>通年 補助事業（新制度） 新制度の効果的な周知・PRにより子育て世帯の一層の流入を促進した。</p>
公民連携の視点	<p>条例要件</p> <p><input type="checkbox"/> ア（複数課題解決） <input type="checkbox"/> イ（地域価値向上） <input type="checkbox"/> ウ（地域経済発展）</p> <p><input type="checkbox"/> エ（公的負担軽減） <input type="checkbox"/> オ（自立的・持続可能）</p>	<p>大東市公民連携に関する条例第2条の規定に該当する項目がないため。</p>	

3. 事業費等

区分		令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)				
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費	112					
		役務費						
		委託料						
		使用料及び賃借料						
		工事請負費						
		公有財産購入費						
		備品購入費						
		負担金補助及び交付金	12,745	10,955	7,375			
		扶助費						
		補償補填及び賠償金						
		その他						
	事業費計(千円) a	12,857	10,955	7,375				
	財源内訳	国庫支出金						
府支出金								
市債								
その他								
うち基金繰入金								
一般財源	12,857	10,955	7,375					
人件費	内訳	正職員(人・千円)	1.00	7,919	1.00	7,952	1.00	7,574
		再任用職員(人・千円)						
		任期付職員(人・千円)						
		会計年度任用職員(人・千円)						
		退職手当引当金繰入額		513		650		523
		他課等の協力分						
	人件費計(千円) b		8,432		8,602		8,097	
総事業費 a+b		21,289		19,557		15,472		

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典

(2) 評価指標


指標	指標名	区分	目標年次	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
			目標値			目標	実績	目標
指標①	補助金の申込件数	成果	令和4年度	件	目標	50	35	20
			20		実績	76	41	21
	指標の定義	三世代家族推進事業補助金の交付申込があった件数						
指標②					目標			
					実績			
	指標の定義							
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

5. 総括

自己点検	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
	平成27年度から三世代家族推進事業を実施し、令和3年度にも制度を見直し、高齢期及び子育て期を安心して過ごすための居住地の選択を支援することができた。なお、今後も引き続き人口増加による活力あるまちづくりの推進及び地域経済の活性化を図る。

事業名	景観形成推進事業
-----	----------

1. 基礎情報

所属		都市経営部		都市政策課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (4) 都市空間の活用
	款	07	土木費		
	項	03	都市計画費		
	目	01	都市計画総務費	分野別計画	大東市景観計画
	事業	0107	景観形成推進事業		
分類	I 類事業				
関連するSDGs 17の目標					

2. 内容

事業概要（全体）	本市が有する特性を活かし、良好な景観形成を推進する。 【実施期間】 平成31年度～		事業概要（今年度）	景観重点地区指定に向けた地元協議を実施。	
スケジュール（全体）	平成31年4月 景観行政団体へ移行 令和2年1月 景観計画・景観条例施行 令和3年4月 景観アドバイザー制度施行		スケジュール（今年度）	・2月 御領地区の景観まちづくりを考える会開催 ・3月 大東市景観審議会	
公民連携の視点	条例要件 <input type="checkbox"/> ア（複数課題解決） <input type="checkbox"/> イ（地域価値向上） <input type="checkbox"/> ウ（地域経済発展） <input type="checkbox"/> エ（公的負担軽減） <input type="checkbox"/> オ（自立的・持続可能）				
検討内容	大東市公民連携に関する条例第2条の規定に該当する項目がないため。				

3. 事業費等

区分		令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)				
事業費	内訳	報償費	22	57				
		旅費						
		需用費						
		役務費						
		委託料	3,278	2,960				
		使用料及び賃借料						
		工事請負費						
		公有財産購入費						
		備品購入費						
		負担金補助及び交付金						
		扶助費						
		補償補填及び賠償金						
		その他	75	75	61			
		事業費計(千円) a	3,375	3,092	61			
	財源内訳	国庫支出金	1,639	1,480				
府支出金								
市債								
その他			1,480	7				
うち基金繰入金			1,480					
一般財源	1,736	132	54					
人件費	内訳	正職員(人・千円)	1.00	7,919	1.00	7,952	1.00	7,574
		再任用職員(人・千円)						
		任期付職員(人・千円)						
		会計年度任用職員(人・千円)						
		退職手当引当金繰入額		513		650		523
		他課等の協力分						
人件費計(千円) b		8,432		8,602		8,097		
総事業費 a+b			11,807		11,694		8,158	

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典

(2) 評価指標


指標	指標名	区分	目標年次	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
			目標値			令和7年度	目標	実績
指標①	「景観に配慮したまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	-	32	38
			54			26	30	25
	指標の定義	市民アンケートで「景観に配慮したまち」に対し、「満足」「やや満足」と回答した人の割合						
指標②					目標			
					実績			
	指標の定義							
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

5. 総括

自己点検	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
	「御領地区の景観まちづくりを考える会」を開催し景観について意見交換を実施したが、景観重点地区の指定について地権者の合意を得ることが困難な状況であったため、地域の合意が得られるルールづくりを検討していく。

事業名	がけ地近接等危険住宅移転補助事業
-----	------------------

1. 基礎情報

所属		都市整備部		開発指導課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	1危機管理の徹底 (2)減災の推進
	款	07	土木費		
	項	03	都市計画費		
	目	01	都市計画総務費		
	事業	0108	がけ地近接等危険住宅移転補助事業	分野別計画	
分類		I 類事業			
関連するSDGs 17の目標					

2. 内容

事業概要（全体）	<p>本市では「あふれる笑顔 幸せのまち大東づくり」を目標に、市民が笑顔で安心して安全に暮らすことのできるまちづくりに資するため、がけ地の崩落等により住民の生命に危険を及ぼす恐れのある区域に存する住宅の移転を促進するため、その住宅の除却等に要する経費及びその住宅に代わる住宅の建設に要する経費の一部を補助するものである。</p> <p>【実施期間】 令和2年1月～</p>	事業概要（今年度）	<p>広報誌やホームページ等のSNSを活用し、補助制度の周知を図り、申し込みを募った。</p>	
スケジュール（全体）	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年1月 大東市崖地近接等危険住宅移転事業補助金交付要綱作成 令和2年度 申込募集 令和3年度 申込募集 令和4年度 申込募集 	スケジュール（今年度）	<ul style="list-style-type: none"> 4月～ 補助金の申込受付開始 通年 補助制度に伴う広報活動 	
公民連携の視点	<p style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> ア（複数課題解決） <input type="checkbox"/> イ（地域価値向上） <input type="checkbox"/> ウ（地域経済発展） <input type="checkbox"/> エ（公的負担軽減） <input type="checkbox"/> オ（自立的・持続可能） </p>	検討内容		補助金事業であるため、公民連携手法にはそぐわない。

3. 事業費等

区分		令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)		
事業費	内訳	報償費				
		旅費				
		需用費				
		役務費				
		委託料				
		使用料及び賃借料				
		工事請負費				
		公有財産購入費				
		備品購入費				
		負担金補助及び交付金				
		扶助費				
		補償補填及び賠償金				
		その他				
	事業費計(千円) a					
	財源内訳	国庫支出金				
府支出金						
市債						
その他						
うち基金繰入金						
一般財源						
人件費	内訳	正職員(人・千円)	0.20	1,590	0.20	1,515
		再任用職員(人・千円)				
		任期付職員(人・千円)				
		会計年度任用職員(人・千円)				
		退職手当引当金繰入額		130		105
		他課等の協力分				
	人件費計(千円) b			1,720		1,620
総事業費 a+b			1,720		1,620	

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	24.7%	54%	市民アンケート

(2) 評価指標




指標	指標名	区分	目標年次	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
			目標値			令和2年度	令和3年度	令和4年度
指標①	補助制度の周知	活動	令和4年度	%	目標	-	100	100
			100		実績	-	100	100
	指標の定義	補助対象とされる土砂災害特別警戒区域内にある戸建住宅のうち、補助制度の周知がなされている割合						
指標②	補助利用件数	成果	令和4年度	件	目標	1	1	1
			1		実績	0	0	0
	指標の定義	がけ地近接等危険住宅移転事業補助金の交付申込があった件数						
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

5. 総括

自己点検	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
	補助対象区域内の戸建住宅への周知チラシのポスティング及び広報誌やホームページへの掲載等により周知活動を行った。周知活動後の申込には至らなかったが、窓口相談等もあり、住宅移転の意識醸成に寄与した。

事業名	地域公共交通事業
-----	----------

1. 基礎情報

所属		都市整備部		交通政策課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (4) 都市空間の活用
	款	07	土木費		
	項	02	道路橋りょう費		
	目	06	交通安全対策費		
	事業	0102	地域公共交通事業	分野別計画	大東市公共交通基本計画
分類	I 類事業				
関連するSDGs 17の目標	  				

2. 内容

事業概要（全体）	<p>①市内において公共交通（コミュニティバス、乗合タクシーなど）を運行し、交通利便性を確保する</p> <p>②市内における公共交通体系について、適正化・効率化のための見直しを検討する</p> <p>③計画に基づく取組事業の実施や検討</p>	事業概要（今年度）	<p>①東部地域乗合タクシー及び南部地域コミュニティバスの運行方法の改良</p> <p>②コミュニティバス及び乗合タクシーを運行するための費用を負担</p> <p>③民間バス路線である阪奈生駒線の運行を維持するための補助金を交付</p> <p>④ニュースレター発行やモビリティマネジメントなど利用促進策等の実施</p>
スケジュール（全体）	<p>R4 東部地域乗合タクシーの継続的な運行方法の改良 南部地域コミュニティバスの運行方法の改良</p> <p>R5～R7まで 市域全体の公共交通の検討 重点的に取り組む具体の事業の遂行</p> <p>R12まで 大東市公共交通基本計画の施策検証、見直し等</p>	スケジュール（今年度）	<p>●地域公共交通事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月 地域公共交通会議の開催 ・10月～ 東部地域乗合タクシー、南部地域コミュニティバス事業者選定 ・2月 地域公共交通会議（書面）開催 運輸局への申請等 ・3月 地域公共交通会議の開催 (参考) 令和5年4月から改編運行開始
公民連携の視点	<p>条例要件</p> <p><input type="checkbox"/> ア（複数課題解決） <input type="checkbox"/> イ（地域価値向上） <input type="checkbox"/> ウ（地域経済発展）</p> <p><input type="checkbox"/> エ（公的負担軽減） <input type="checkbox"/> オ（自立的・持続可能）</p>	<p>地域公共交通事業は、市内全域の公共交通の在り方について協議等を行い各地域の現状に即した公共交通を実施している。市が運行する公共交通については、民間バス事業者などで採算が取れない地域を運行しているため公民連携事業にそぐわない。</p>	

3. 事業費等

区分		令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)				
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費	638	14	650			
		役務費						
		委託料	8,910	4,950	176			
		使用料及び賃借料	23	3	8			
		工事請負費						
		公有財産購入費						
		備品購入費			76			
		負担金補助及び交付金	98,117	88,841	83,014			
		扶助費						
		補償補填及び賠償金						
		その他	326	84	296			
	事業費計(千円) a	108,014	93,892	84,220				
財源内訳	国庫支出金	10,450	2,475					
	府支出金							
	市債							
	その他	4,136	6,611	5,526				
	うち基金繰入金	4,136	6,611	5,526				
一般財源	93,428	84,806	78,694					
人件費	内訳	正職員(人・千円)	3.00	23,757	2.50	19,880	1.95	14,769
		再任用職員(人・千円)						
		任期付職員(人・千円)						
		会計年度任用職員(人・千円)	0.20	406		0.40	765	
		退職手当引当金繰入額		1,539		1,625		1,020
		他課等の協力分						
		人件費計(千円) b		25,702		21,505		16,554
総事業費 a+b		133,716		115,397		100,774		

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	15.4%	32%	市民アンケート

(2) 評価指標


指標	指標名	区分	目標年次	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
			目標値			目標	実績	目標
指標①	コミュニティバス利用客数	成果	令和4年度	人	目標	188,000	143,700	143,700
			143,700			133,975	145,191	164,402
	指標の定義	利用客数 ※令和3年度以降の目標値は、コロナ禍による外出控えの影響を想定した数値						
指標②	乗合タクシー利用客数	成果	令和4年度	人	目標	3,500	3,200	3,200
			3,200			2,954	2,660	2,755
	指標の定義	利用客数 ※令和3年度以降の目標値は、コロナ禍による外出控えの影響を想定した数値						
指標③	東部地域乗合タクシーの改編	活動	令和4年度	%	目標	-	100	100
			100			-	100	100
	指標の定義	東部乗合タクシーのコース統合やダイヤ、ルート変更、事業者選定などを実施						

5. 総括

自己点検	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
	東部地域乗合タクシーと南部地域コミュニティバスの事業者選定を実施し、令和5年度からの運行事業者を選定した。また、東部地域乗合タクシーについては、5コースから3コースへのコース統合、ダイヤの改定、ルートの変更を行った。直近2年の利用者数は回復基調であるが、新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準に戻るよう、公共交通の利用促進を図り、周知等に努める。

事業名	放置自転車対策事業
-----	-----------

1. 基礎情報

所属		都市整備部		交通政策課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (4) 都市空間の活用
	款	07	土木費		
	項	02	道路橋りょう費		
	目	07	自転車対策費		
	事業	0100	放置自転車対策事業	分野別計画	
分類	Ⅱ類事業				
関連するSDGs 17の目標					

2. 内容

事業概要（全体）	<p>大東市自転車等の放置防止に関する条例に基づき、JR3駅（住道・野崎・四条畷）周辺の自転車等放置禁止区域内において、市道等の通行環境を保持し、通行者の安全や駅前景観を確保する。</p>	事業概要（今年度）	<p>①放置自転車の所持者に対する啓発指導（放置自転車等に対する警告札の貼り付けなど） ②放置自転車等を放置禁止区域内から保管所へ移送 ③保管所に収容された放置自転車等の返還及び移送保管費用の徴収</p>
スケジュール（全体）	<p>毎年、年間を通じて放置自転車等の街頭啓発業務、移送業務、保管返還業務を実施することにより、駅周辺の良好な通行環境を維持する。</p>	スケジュール（今年度）	<p>通年 自転車等放置禁止区域内での街頭啓発業務や移送業務の実施 自転車保管所を開所し、自転車等の返還業務の実施</p>
公民連携の視点	<p>条例要件</p> <p><input type="checkbox"/> ア（複数課題解決） <input type="checkbox"/> イ（地域価値向上） <input type="checkbox"/> ウ（地域経済発展）</p> <p><input type="checkbox"/> エ（公的負担軽減） <input type="checkbox"/> オ（自立的・持続可能）</p>	<p>検討内容</p> <p>放置自転車などの撤去に関しては、啓発・警告札、移送、保管・返還という流れとなる。収入の面では返還業務のみであり、他の業務（啓発、移送）を賄うことができないので、公民連携事業にそぐわない。</p>	

3. 事業費等

区分		令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)				
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費						
		役務費						
		委託料	29,979	27,939	24,617			
		使用料及び賃借料						
		工事請負費						
		公有財産購入費						
		備品購入費						
		負担金補助及び交付金						
		扶助費						
		補償補填及び賠償金						
		その他						
	事業費計(千円) a	29,979	27,939	24,617				
財源内訳	国庫支出金							
	府支出金							
	市債							
	その他	1,539	1,725	1,631				
	うち基金繰入金							
一般財源	28,440	26,214	22,986					
人件費	内訳	正職員(人・千円)	0.50	3,960	0.50	3,976	0.41	3,105
		再任用職員(人・千円)						
		任期付職員(人・千円)						
		会計年度任用職員(人・千円)	0.80	1,624	1.00	2,394	0.40	765
		退職手当引当金繰入額		257		325		214
		他課等の協力分						
		人件費計(千円) b	5,841	6,695	4,084			
総事業費 a+b	35,820	34,634	28,701					

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時 令和2年度	目標値 令和7年度	出典
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	15.4%	32%	市民アンケート

(2) 評価指標


指標	指標名	区分	目標年次 目標値	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			令和4年度			目標	実績	目標	実績
指標①	放置自転車の減少	成果	令和4年度	台		目標	1,800	1,320	1,100
			1,100			実績	854	1,137	1,193
	指標の定義	撤去した放置自転車等の台数							
指標②						目標			
						実績			
	指標の定義								
指標③						目標			
						実績			
	指標の定義								

5. 総括

自己点検	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
	新型コロナウイルス感染症拡大によって、鉄道利用者の通勤・通学が減少したことから一時的に令和2年度の撤去数が大幅に減少したが、時間の経過とともに徐々に通常の日常生活に戻ってきたため自転車等の撤去数が増加傾向にある。今後も街頭啓発業務及び移送業務を継続して実施し、駅周辺の良い通行環境の維持に努める。

事業名	橋梁長寿命化等修繕事業
-----	-------------

1. 基礎情報

所属		都市整備部		道路課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	1危機管理の徹底 (3)災害時における安心の確保
	款	07	土木費		
	項	02	道路橋りょう費		
	目	02	道路維持費	分野別計画	
	事業	0100	橋梁長寿命化等修繕事業		
分類	I 類事業				
関連するSDGs 17の目標					

2. 内容

事業概要（全体）	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁長寿命化 ・橋梁点検 ・市道の適切な維持管理 	事業概要（今年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁（平野屋橋）の補修工事 ・橋梁の点検 ・長寿命化計画の改定
スケジュール（全体）	<ul style="list-style-type: none"> ・点検結果がⅢ判定以上の市管理橋梁の修繕を計画的に実施 ・市管理橋梁の点検（5年以内に1回） R5年度 53橋 R7年度 18橋 R8年度 8橋 R9年度 63橋 ・市道（1、2級路線）の点検及び長寿命化計画の策定 R8 路面性状調査 	スケジュール（今年度）	<ul style="list-style-type: none"> 松の鼻橋橋梁補修工事完了（3月） 平野屋橋橋梁補修工事完了（3月） 大東市橋梁長寿命化修繕計画改定業務委託完了（3月） 橋梁定期点検調査業務完了（3月）
公民連携の視点	条例要件 <input type="checkbox"/> ア（複数課題解決） <input type="checkbox"/> イ（地域価値向上） <input type="checkbox"/> ウ（地域経済発展） <input type="checkbox"/> エ（公的負担軽減） <input type="checkbox"/> オ（自立的・持続可能）	橋梁長寿命化事業については、橋梁の補修工事等のハード整備のみの事業であり、民間事業者の創意工夫やアイデアを活かして、ソフト事業を実施して頂くフィールドを提供することが困難であることから、公民連携にはなじまない。	

3. 事業費等

区分		令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)				
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費						
		役務費						
		委託料	29,941	25,328	8,342			
		使用料及び賃借料						
		工事請負費	92,129	163,594	47,150			
		公有財産購入費						
		備品購入費						
		負担金補助及び交付金			31,854			
		扶助費						
		補償補填及び賠償金						
		その他						
	事業費計(千円) a	122,070	188,922	87,346				
	財源内訳	国庫支出金	61,395	96,107	41,455			
府支出金								
市債		41,200	66,000	17,200				
その他		3,193	6,634	28,691				
うち基金繰入金				28,691				
一般財源	16,282	20,181						
人件費	内訳	正職員(人・千円)	0.30	2,376	1.50	11,928	0.65	4,923
		再任用職員(人・千円)						
		任期付職員(人・千円)						
		会計年度任用職員(人・千円)						
		退職手当引当金繰入額		154		975		340
		他課等の協力分						
	人件費計(千円) b	2,530	12,903	5,263				
総事業費 a+b	124,600	201,825	92,609					

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時 令和2年度	目標値 令和7年度	出典
「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	24.7%	54%	市民アンケート

(2) 評価指標



指標	指標名	区分	目標年次 目標値	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
			令和4年度			目標	実績	目標
指標①	単年度達成率(事業費ベース)	活動	令和4年度	%	目標	100	100	100
			100			実績	67	88
	指標の定義	単年度における事業の達成率						
指標②	「災害等に対して安全なまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	-	30.6	36.4
			54			実績	24.7	35.6
	指標の定義	「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度						
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

5. 総括

自己点検	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
	令和4年度に予定していた事業については、予定通りに進捗した。 管理橋梁の高齢化により維持補修費の増加が見込まれるため、改定した長寿命化計画に基づき補修工事を実施することで、維持補修費の平準化に努める。

事業名	道路新設改良事業
-----	----------

1. 基礎情報

所属		都市整備部		道路課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (4) 都市空間の活用
	款	07	土木費		
	項	02	道路橋りょう費		
	目	03	道路新設改良費		
	事業	0100	道路新設改良事業	分野別計画	
分類	I 類事業				
関連するSDGs 17の目標	 				

2. 内容

事業概要（全体）	歩行者や車両等の円滑な通行と安全確保のため、道路拡幅や歩道・交差点改良等を実施。	事業概要（今年度）	市道の改良に必要となる用地取得、設計委託及び道路拡幅工事を行った。						
スケジュール（全体）	歩道の拡幅・段差の解消等のバリアフリー化工事や狭小な道路の拡幅工事、交差点改良工事等を行う。 市道の改良に必要となる用地を取得する。	スケジュール（今年度）	片町線附属街路南側2号線歩道改良工事完了（8月） 住道停車場線舗装工事完了（11月） 深野北1丁目地内道路管理地改良工事完了（3月） 太子田萱島線道路改良工事完了（3月） 中垣内12号線道路改良予備設計業務委託完了（3月） 緑風冠高校南側線他1路線道路詳細設計業務委託完了（3月） 谷田川左岸線電線共同溝予備設計業務委託完了（3月） 中垣内浜公園前線道路整備に伴う物件調査等業務委託完了（3月）						
公民連携の視点	<table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> ア（複数課題解決）</td> <td><input type="checkbox"/> イ（地域価値向上）</td> <td><input type="checkbox"/> ウ（地域経済発展）</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> エ（公的負担軽減）</td> <td><input type="checkbox"/> オ（自立的・持続可能）</td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> ア（複数課題解決）	<input type="checkbox"/> イ（地域価値向上）	<input type="checkbox"/> ウ（地域経済発展）	<input type="checkbox"/> エ（公的負担軽減）	<input type="checkbox"/> オ（自立的・持続可能）		道路新設改良事業は道路の新設工事等のハード整備のみの事業であり、民間事業者の創意工夫やアイデアを活かして、ソフト事業を実施して頂くフィールドを提供することが困難であることから、公民連携にはなじまない。	
<input type="checkbox"/> ア（複数課題解決）	<input type="checkbox"/> イ（地域価値向上）	<input type="checkbox"/> ウ（地域経済発展）							
<input type="checkbox"/> エ（公的負担軽減）	<input type="checkbox"/> オ（自立的・持続可能）								

3. 事業費等

区分		令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)				
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費						
		役務費						
		委託料	12,228	11,554	18,177			
		使用料及び賃借料	9	9	9			
		工事請負費	64,056	25,512	25,036			
		公有財産購入費						
		備品購入費						
		負担金補助及び交付金	96		9,191			
		扶助費						
		補償補填及び賠償金						
		その他						
	事業費計(千円) a	76,389	37,075	52,413				
	財源内訳	国庫支出金	12,928					
府支出金								
市債		47,638						
その他		1,734	7,433	52,413				
うち基金繰入金				52,413				
一般財源	14,089	29,642						
人件費	内訳	正職員(人・千円)	0.40	3,168	1.50	11,928	1.40	10,604
		再任用職員(人・千円)						
		任期付職員(人・千円)						
		会計年度任用職員(人・千円)						
		退職手当引当金繰入額		205		975		732
		他課等の協力分						
	人件費計(千円) b	3,373	12,903	11,336				
総事業費 a+b	79,762	49,978	63,749					

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時 令和2年度	目標値 令和7年度	出典
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	15.4%	32%	市民アンケート

(2) 評価指標


指標	指標名	区分	目標年次 目標値	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			令和4年度			目標	実績	目標	実績
指標①	単年度達成率(事業費ベース)	活動	令和4年度	%		目標	100	100	100
			100			実績	77	67	58
	指標の定義	単年度における事業の達成率							
指標②	「快適な歩行者空間が確保されたまち」に対する満足度	成果	令和7年度	%		目標	-	18.7	22
			32			実績	15.4	16.6	15.3
	指標の定義	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度							
指標③						目標			
						実績			
	指標の定義								

5. 総括

自己点検	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
	令和4年度に予定していた道路工事及び設計委託については予定通りに進捗し、既存道路の安全・安心の向上及び防災拠点へのアクセス向上に寄与した。 市道の改良に必要な用地取得については、地権者との交渉に時間を要し、用地取得に至らなかったが、今後も地権者に対し事業の趣旨を説明し理解して頂くことで、早期の用地取得に努める。

事業名	北条踏切改良事業
-----	----------

1. 基礎情報

所属		都市整備部		道路課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	
	款	07	土木費		
	項	02	道路橋りょう費		
	目	03	道路新設改良費		
	事業	0101	北条踏切改良事業	分野別計画	
分類		I 類事業			
関連するSDGs 17の目標					

2. 内容

事業概要（全体）	北条踏切及び前後道路を拡幅し、歩道を新設して通行の安全を確保する。	事業概要（今年度）	事業予定地の取得に係る交渉を行った。
スケジュール（全体）	<ul style="list-style-type: none"> ・用地交渉 ・道路工事 ・踏切内工事 	スケジュール（今年度）	通年 用地交渉
公民連携の視点	条例要件	<input type="checkbox"/> ア（複数課題解決） <input type="checkbox"/> イ（地域価値向上） <input type="checkbox"/> ウ（地域経済発展） <input type="checkbox"/> エ（公的負担軽減） <input type="checkbox"/> オ（自立的・持続可能）	
	検討内容	北条踏切改良事業は踏切拡幅等のハード整備のみの事業であり、民間事業者の創意工夫やアイデアを活かして、ソフト事業を実施して頂くフィールドを提供することが困難であることから、公民連携にはなじまない。	

3. 事業費等

区分		令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)				
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費						
		役務費						
		委託料						
		使用料及び賃借料						
		工事請負費						
		公有財産購入費						
		備品購入費						
		負担金補助及び交付金						
		扶助費						
		補償補填及び賠償金						
		その他						
	事業費計(千円) a							
財源内訳	国庫支出金							
	府支出金							
	市債							
	その他							
	うち基金繰入金							
一般財源								
人件費	内訳	正職員(人・千円)	0.10	792	0.50	3,976	0.25	1,894
		再任用職員(人・千円)						
		任期付職員(人・千円)						
		会計年度任用職員(人・千円)						
		退職手当引当金繰入額		51		325		131
		他課等の協力分						
	人件費計(千円) b			843		4,301		2,025
総事業費 a+b			843		4,301		2,025	

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時 令和2年度	目標値 令和7年度	出典
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	15.4%	32%	市民アンケート

(2) 評価指標


指標	指標名	区分	目標年次 目標値	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
			令和5年度			目標	実績	目標
指標①	事業進捗率	活動	令和5年度	%		100	100	100
			100			28	28	28
指標の定義		当該踏切改良事業の令和5年度までの進捗率						
指標②	「快適な歩行者空間が確保されたまち」に対する満足度	成果	令和7年度	%		目標	18.7	22
			32			実績	15.4	16.6
指標の定義		「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度						
指標③						目標		
						実績		
指標の定義								

5. 総括

自己点検	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
	境界確定の実施について、地権者との交渉に時間を要し、業務の実施に至らなかった。今後も地権者との交渉を継続し、早期の用地取得に努める。

事業名	東部地域道路整備事業
-----	------------

1. 基礎情報

所属		都市整備部		道路課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (4) 都市空間の活用
	款	07	土木費		
	項	02	道路橋りょう費		
	目	03	道路新設改良費	分野別計画	
	事業	0102	東部地域道路整備事業		
分類	I 類事業				
関連するSDGs 17の目標					

2. 内容

事業概要（全体）	<p>狭小な道路や南北へのアクセスを改善することにより、東部地域全体の利便性向上を図る。</p>	事業概要（今年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業箇所の土地調査等を行った。 ・道路改良工事を行った。
スケジュール（全体）	<ul style="list-style-type: none"> ・現道の車道及び歩道の改良 ・交差点部の歩道段差等の改良 ・円滑な通行と安全確保のための現道拡幅 	スケジュール（今年度）	<p>野崎11号線土地調査業務委託完了（8月） 地像須波摩神社線道路改良設計業務委託完了（10月） 中垣内二丁目地内境界明示業務委託完了（10月） 地像須波摩神社線道路改良工事完了（3月）</p>
公民連携の視点	<p>条例要件</p> <p><input type="checkbox"/> ア（複数課題解決） <input type="checkbox"/> イ（地域価値向上） <input type="checkbox"/> ウ（地域経済発展）</p> <p><input type="checkbox"/> エ（公的負担軽減） <input type="checkbox"/> オ（自立的・持続可能）</p>	<p>東部地域道路整備事業は本市東部エリアの道路拡幅等のハード整備のみの事業であり、民間事業者の創意工夫やアイデアを活かして、ソフト事業を実施して頂くフィールドを提供することが困難であることから、公民連携にはなじまない。</p>	

3. 事業費等

区分		令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)				
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費						
		役務費						
		委託料	396	485	1,487			
		使用料及び賃借料						
		工事請負費	9,096		6,214			
		公有財産購入費						
		備品購入費						
		負担金補助及び交付金						
		扶助費						
		補償補填及び賠償金						
		その他						
	事業費計(千円) a	9,492	485	7,701				
財源内訳	国庫支出金							
	府支出金							
	市債							
	その他			7,280				
	うち基金繰入金			7,280				
一般財源	9,492	485	421					
人件費	内訳	正職員(人・千円)	0.10	792	0.50	3,976	0.50	3,787
		再任用職員(人・千円)						
		任期付職員(人・千円)						
		会計年度任用職員(人・千円)						
		退職手当引当金繰入額		51		325		262
		他課等の協力分						
	人件費計(千円) b		843		4,301		4,049	
総事業費 a+b		10,335		4,786		11,750		

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	15.4%	32%	市民アンケート

(2) 評価指標


指標	指標名	区分	目標年次	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
			目標値			目標	実績	実績
指標①	単年度達成率(事業費ベース)	活動	令和4年度	%	目標	100	100	100
			100			91	50	84
	指標の定義	単年度における事業の達成率						
指標②	「快適な歩行者空間が確保されたまち」に対する満足度	成果	令和7年度	%	目標	-	18.7	22
			32			15.4	16.6	15.3
	指標の定義	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度						
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

5. 総括

自己点検	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
	令和4年度に予定していた事業については、予定通りに進捗し、既存道路の安全・安心の向上及び東部地域の利便性向上に寄与した。 今後、境界確定等が伴う整備区間においては、地権者に対し整備の趣旨を理解して頂き、事業を進めていく必要がある。

事業名	深野北谷川線新設事業
-----	------------

1. 基礎情報

所属		都市整備部		道路課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (4) 都市空間の活用
	款	07	土木費		
	項	03	都市計画費		
	目	05	深野北谷川線新設費	分野別計画	
	事業	0100	深野北谷川線新設事業		
分類	I 類事業				
関連するSDGs 17の目標					

2. 内容

事業概要（全体）	本市の南北を結ぶ幹線道路として、また広域避難地である大東中央公園へのアクセス道として重要な役割を担っている都市計画道路深野北谷川線の整備を行う。		事業概要（今年度）	①事業予定地の用地取得に係る土地鑑定、補償算定及び用地買収を行った。 ②旧権現川接続部の整備工事を行った。
スケジュール（全体）	①大阪生駒線～大東中央公園区間 道路詳細設計（H29～H30） 土地鑑定、補償算定、物件補償、用地買収（R1～R5） 道路工事（R6～R11） ②旧権現川接続部 土地境界確定（H29） 都市計画変更、道路詳細設計（H30）、道路工事（R4）		スケジュール（今年度）	①土地鑑定完了 補償算定完了 土地売買契約完了（5件） R4. 3月 1件、R4. 4月 1件、R4. 6月 1件、 R4. 8月 1件、R5. 2月 1件 建物移転補償契約完了（7件） R4. 3月 1件、R4. 4月 1件、R4. 6月 1件、 R4. 8月 1件、R4. 12月 1件 R5. 2月 2件 土地売買契約繰越（3件） R5. 1月 1件、R5. 3月 2件 建物移転補償契約繰越（3件） R5. 1月 1件、R5. 3月 2件 ②深野北谷川線旧権現川接続工事完了（1月）
公民連携の視点	条例要件	<input type="checkbox"/> ア（複数課題解決） <input type="checkbox"/> イ（地域価値向上） <input type="checkbox"/> ウ（地域経済発展） <input type="checkbox"/> エ（公的負担軽減） <input type="checkbox"/> オ（自立的・持続可能）		
公民連携の視点	検討内容	深野北谷川線新設事業は都市計画道路深野北谷川線の新設工事等のハード整備のみの事業であり、民間事業者の創意工夫やアイデアを活かして、ソフト事業を実施して頂くフィールドを提供することが困難であることから、公民連携にはなじまない。		

3. 事業費等

区分		令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)				
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費						
		役務費						
		委託料	5,028	8,929	25,229			
		使用料及び賃借料						
		工事請負費		1,119	19,975			
		公有財産購入費	39,649	37,322	62,871			
		備品購入費						
		負担金補助及び交付金						
		扶助費						
		補償補填及び賠償金	28,195	24,941	81,621			
	その他							
	事業費計(千円) a	72,872	72,311	189,696				
	財源内訳	国庫支出金		10,756	59,926			
府支出金								
市債		67,200	46,300	27,200				
その他		644	5,207	51,288				
うち基金繰入金				51,288				
一般財源	5,028	10,048	51,282					
人件費	内訳	正職員(人・千円)	0.20	1,584	1.50	11,928	1.10	8,331
		再任用職員(人・千円)						
		任期付職員(人・千円)						
		会計年度任用職員(人・千円)						
		退職手当引当金繰入額		103		975		575
		他課等の協力分						
	人件費計(千円) b	1,687	12,903	8,906				
総事業費 a+b	74,559	85,214	198,602					

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時 令和2年度	目標値 令和7年度	出典
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	15.4%	32%	市民アンケート

(2) 評価指標



指標	指標名	区分	目標年次 目標値	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
			令和6年度			目標	実績	目標
①	事業進捗率(事業費ベース)	活動	令和6年度	%	目標	100	100	100
			100			7	12	20
	指標の定義	当該事業の完成までの事業進捗率						
②	「快適な歩行者空間が確保されたまち」に対する満足度	成果	令和7年度	%	目標	-	18.7	22
			32			15.4	16.6	15.3
	指標の定義	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度						
③					目標			
					実績			
	指標の定義							

5. 総括

自己点検	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
	令和4年度に予定していた事業については、概ね予定通りに進捗したが、繰越した案件もあった。整備スケジュールが決まっているため、地権者に対し事業の趣旨を説明し理解して頂くことで、早期の用地取得に努め、安全・安心な道路機能の向上、防災拠点へのアクセス向上に向け、事業実施していく。

事業名	都市公園再整備事業
-----	-----------

1. 基礎情報

所属		都市整備部		みどり課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	1危機管理の徹底 (3)災害時における安心の確保
	款	07	土木費		2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (4)都市空間の活用
	項	03	都市計画費		5出産や子育ての安心と魅力の創出 (4)安全・安心の子育て環境づくり
	目	02	公園管理費	分野別計画	
	事業	0101	都市公園再整備事業		
分類	I 類事業				
関連するSDGs 17の目標	 				

2. 内容

事業概要 (全体)	大東市緑の基本計画、大東市公共施設等個別施設計画、大東市都市公園再整備計画等に基づき、開設より20年以上が経過した都市公園について、老朽化した施設のリニューアルや地域のニーズに応じた特色ある公園づくりを行うもの。		事業概要 (今年度)	明美の里公園の実施設計、沓の坪公園・笠神公園の基本設計、東諸福公園多目的広場防球用フェンス等の設計、新田中央公園屋根付広場の設計業務を行った。また、東諸福公園の駐車場を整備、大東公園多目的広場に防球用フェンスを設置する等、地域のニーズに応じた再整備を進めた。	
	スケジュール (全体)	(再整備) ・老朽化の進んでいる15公園を今後10箇年で再整備を行う。 (駐車場) ・駐車場整備を行い、利用状況等を確認し、令和7年度以降、管理許可により事業者が駐車場の運営管理を行う予定。 (防球用フェンス) ・大東市公園施設予約システムにより貸出を行っている5公園について、順次防球用フェンス等を整備する。		スケジュール (今年度)	・東諸福公園駐車場整備工事 2月 完了 ・大東公園多目的広場防球用フェンス等設置工事 3月 完了 ・明美の里公園実施設計業務委託 3月 完了
公民連携の視点		条例要件	<input type="checkbox"/> ア (複数課題解決) <input checked="" type="checkbox"/> イ (地域価値向上) <input checked="" type="checkbox"/> ウ (地域経済発展) <input checked="" type="checkbox"/> エ (公的負担軽減) <input type="checkbox"/> オ (自立的・持続可能)		
	検討内容	供用より長い年月を経た公園の再整備や公園利用促進のための駐車場整備等を行う。民間の有するノウハウ等を取り入れ、より魅力的な公園となるように事業を行う。			

3. 事業費等

区分		令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)				
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費						
		役務費			119			
		委託料		7,003	10,617			
		使用料及び賃借料						
		工事請負費		113,796	164,566			
		公有財産購入費						
		備品購入費						
		負担金補助及び交付金						
		扶助費						
		補償補填及び賠償金						
		その他						
	事業費計(千円) a			120,799	175,302			
財源内訳	国庫支出金			1,700				
	府支出金							
	市債							
	その他		115,705	146,107				
	うち基金繰入金		115,705	146,107				
一般財源			5,094	27,495				
人件費	内訳	正職員(人・千円)	1.90	15,046	2.00	15,904	1.90	14,391
		再任用職員(人・千円)						
		任期付職員(人・千円)	0.60	2,249				
		会計年度任用職員(人・千円)						
		退職手当引当金繰入額		975		1,300		994
		他課等の協力分						
	人件費計(千円) b			18,270		17,204		15,385
総事業費 a+b			18,270		138,003		190,687	

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時 令和2年度	目標値 令和7年度	出典
「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	24.7%	54%	市民アンケート

(2) 評価指標



指標	指標名	区分	目標年次 目標値	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
			令和13年度			目標	実績	目標
指標①	再整備の公園数(45公園)	活動	令和13年度	%	目標	-	-	0
			33			実績	-	-
指標の定義		再整備を実施することとしている公園のうち、整備工事が完了した公園の割合						
指標②	「公園整備が充実したまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	-	44	48.5
			62			実績	39.5	45.2
指標の定義		市民アンケートで「公園整備が充実したまち」に対し、「満足」「やや満足」と回答した人の割合						
指標③					目標			
					実績			
指標の定義								

5. 総括

自己点検	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
	予定していた事業については、予定どおり設計・工事を進めた。地域のニーズに応じた再整備を行うため関係者との調整を図り、魅力ある公園・施設整備に努める。

事業名	野崎駅・四条畷駅周辺整備事業
-----	----------------

1. 基礎情報

所属		都市整備部		駅周辺整備課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出 (4) 都市空間の活用
	款	07	土木費		
	項	03	都市計画費		
	目	23	野崎駅・四条畷駅周辺整備費		
	事業	0100	野崎駅・四条畷駅周辺整備事業		
分類	I 類事業		分野別計画		
関連するSDGs 17の目標	 				

2. 内容

事業概要（全体）	<p>本市には鉄道駅が3駅あり、うち「JR住道駅」の周辺においては、以前より重点的に整備を進めてきたが、今後は市東北部の振興を図るため、「JR野崎駅」「JR四条畷駅」の周辺整備に着手する必要がある。そのため、2駅周辺で特色ある魅力的な整備を行う。</p> <p>【実施期間】 平成25年度～令和7年度</p>	<p>事業概要（今年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に引き続き、野崎駅西側立体駐輪場の整備工事を行った。 工事期間：令和3年10月～令和4年10月 ・過年度に実施した設計をもとに野崎駅東西駅前広場の整備工事を行った。 工事期間：令和4年10月～
	<p>スケジュール（全体）</p> <p>整備期間は、令和7年度までを予定。 【野崎駅周辺】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野崎駅橋上化整備工事 ・駅前広場、自転車駐車場整備等 <p>【四条畷駅周辺】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペDESTリアンデッキ整備等 	<p>スケジュール（今年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野崎駅西側立体駐輪場 10月：竣工 ・野崎駅東西駅前広場 9月：入札・契約 10月：工事開始 ・野崎駅橋上化 2月：竣工
公民連携の視点	<p>条例要件</p> <p><input type="checkbox"/> ア（複数課題解決） <input type="checkbox"/> イ（地域価値向上） <input type="checkbox"/> ウ（地域経済発展）</p> <p><input type="checkbox"/> エ（公的負担軽減） <input type="checkbox"/> オ（自立的・持続可能）</p>	<p>検討内容</p> <p>本事業は、市東北部の振興と利便性の向上を図るため、JR野崎駅及びJR四条畷駅の周辺整備を行うものである。</p> <p>本事業は自由通路・道路・立体駐輪場等のインフラ整備が主な施策となっており、民間の有するノウハウ等を活かすことが出来ない。</p> <p>よって、本事業における公民連携手法の導入は不可能。</p>

3. 事業費等

区分		令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)				
事業費	内訳	報償費						
		旅費	43	39	40			
		需用費	242	152	643			
		役務費	556	1,027	1,256			
		委託料	72,211	73,489	33,023			
		使用料及び賃借料	2,541	8,111	20,252			
		工事請負費	61,053	334,566	616,665			
		公有財産購入費	276,345	207,357	18,548			
		備品購入費			34			
		負担金補助及び交付金	632,538	326,874	279,783			
		扶助費						
		補償補填及び賠償金	929,297	656,498	8,730			
	その他							
	事業費計(千円) a		1,974,826	1,608,113	978,974			
財源内訳	国庫支出金	452,296	500,577	69,023				
	府支出金							
	市債	942,700	814,200	743,400				
	その他	579,830		165,551				
	うち基金繰入金	579,830		165,551				
一般財源			293,336	1,000				
人件費	内訳	正職員(人・千円)	5.50	43,555	5.50	43,736	5.00	37,870
		再任用職員(人・千円)						
		任期付職員(人・千円)						
		会計年度任用職員(人・千円)	1.00	2,030	1.00	2,394	1.00	1,912
		退職手当引当金繰入額		2,822		3,575		2,615
		他課等の協力分						
		人件費計(千円) b		48,407		49,705		42,397
総事業費 a+b		2,023,233	1,657,818	1,021,371				

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時 令和2年度	目標値 令和7年度	出典
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	15.4%	32%	市民アンケート

(2) 評価指標



指標	指標名	区分	目標年次 目標値	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
			令和4年度			目標	実績	実績
指標①	野崎駅・四条畷駅周辺整備における進捗率	活動	令和4年度	%	目標	-	-	100
			100			実績	46.5	62.6
指標の定義		総事業費ベースに対する進捗率						
指標②	快適な歩行者空間等が確保されたまちに対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	-	18.7	22
			32			実績	15.4	16.6
指標の定義		「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度						
指標③					目標			
					実績			
指標の定義								

5. 総括

自己点検	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
	野崎駅西側立体駐輪場・野崎駅橋上化整備については、鉄道事業者などと連携を図りながら完成する事ができ、駅周辺の利便性向上に寄与した。また駅前広場整備については進捗が遅れが生じているが、更なる利便性の向上と魅力ある都市空間を創出するため、早期完成に向け、適正な工程管理に努める。

事業名	都市浸水対策事業
-----	----------

1. 基礎情報

所属		都市整備部		水政課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	1危機管理の徹底 (3)災害時における安心の確保
	款	07	土木費		
	項	05	河川費		
	目	03	都市浸水対策費	分野別計画	大東市地域防災計画
	事業	0100	都市浸水対策事業		
分類		I 類事業			
関連するSDGs 17の目標		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> </div> </div>			

2. 内容

事業概要（全体）	<p>集中豪雨等による浸水被害を軽減するために、効果的な雨水流出抑制施設（貯留施設）を市内の小中学校に整備及び維持管理を行うものである。</p>	事業概要（今年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・灰塚小学校校庭貯留浸透施設整備工事に伴う設計業務委託 灰塚小学校の校庭に浸透施設を整備する工事の設計を実施した。 ・谷川中学校グラウンド改修工事 グラウンドの一部において水はけが悪いため、改修を行った。
スケジュール（全体）	<p>校庭貯留浸透施設整備工事（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> R5 灰塚小学校 R7 泉小学校 R9 大東中学校 R11 諸福小学校 R13 深野小学校 R15 三箇小学校 R17 四条小学校 R19 北条中学校 	スケジュール（今年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・灰塚小学校雨水貯留浸透施設実施設計業務委託 6月：発注 3月：完了 ・谷川中学校グラウンド改修工事（繰越） 8月：発注 4月：完了
公民連携の視点	<p>条例要件</p> <p style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> ア（複数課題解決） <input type="checkbox"/> イ（地域価値向上） <input type="checkbox"/> ウ（地域経済発展） <input type="checkbox"/> エ（公的負担軽減） <input type="checkbox"/> オ（自立的・持続可能） </p>	<p>本事業については、収益が見込まれない事業であるため導入は不可である。</p>	
公民連携の視点	<p>検討内容</p>		

3. 事業費等

区分		令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)				
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費						
		役務費						
		委託料			5,621			
		使用料及び賃借料						
		工事請負費		55,708	998			
		公有財産購入費						
		備品購入費						
		負担金補助及び交付金						
		扶助費						
		補償補填及び賠償金						
	その他							
	事業費計(千円) a			55,708	6,619			
	財源内訳	国庫支出金		14,000	1,000			
府支出金								
市債			37,500	1,800				
その他								
うち基金繰入金								
一般財源			4,208	3,819				
人件費	内訳	正職員(人・千円)	0.50	3,960	0.50	3,976	0.50	3,787
		再任用職員(人・千円)						
		任期付職員(人・千円)						
		会計年度任用職員(人・千円)						
		退職手当引当金繰入額		257		325		262
		他課等の協力分						
人件費計(千円) b			4,217		4,301		4,049	
総事業費 a+b			4,217		60,009		10,668	

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時 令和2年度	目標値 令和7年度	出典
「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	24.7%	54%	市民アンケート

(2) 評価指標


指標	指標名	区分	目標年次 目標値	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
			令和19年度			目標	実績	目標
指標①	市内小中学校校庭貯留施設の整備率	活動	令和19年度	%	目標	-	-	60
			100			実績	55	60
指標の定義		市内小中学校校庭貯留施設整備を行う予定の全20校のうち、整備が完了した箇所数						
指標②	「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	-	30.6	36.4
			54			実績	24.7	35.6
指標の定義		市民アンケートで「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度						
指標③					目標			
					実績			
指標の定義								

5. 総括

自己点検	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
	灰塚小学校の雨水貯留浸透施設実施設計について、年度内に完了することができた。今後も実施設計及び工事について、年度内に完了するように早期発注に努める。

事業名	水路整備事業
-----	--------

1. 基礎情報

所属		都市整備部		水政課	
予算科目	会計	01	一般会計	総合戦略	1危機管理の徹底 (3)災害時における安心の確保
	款	07	土木費		
	項	05	河川費		
	目	05	河川改修費	分野別計画	大東市地域防災計画
	事業	0100	水路整備事業		
分類	I 類事業				
関連するSDGs 17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを				

2. 内容

事業概要（全体）	地域の実情を十分に把握し、地域住民の快適な生活を実現するための水路整備と、治水機能を高める整備を実施することで、市民に親しまれる水辺環境を創出し、また安心・安全な街づくりを行うものである。	事業概要（今年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・新田9号線1号橋橋梁下整備工事に伴う設計業務委託 ・新田9号線1号橋橋梁下整備工事 新田1号水路の未整備区間である新田9号線1号橋橋梁下の整備について設計及び工事を実施した。
スケジュール（全体）	<ul style="list-style-type: none"> ・水路整備工事（予定） H28～R5 新田地内水路整備工事 R6 太子地内水路整備工事（その1） R7 " "（その2） R8 赤井地内水路境界確定業務委託 R8 赤井地内水路予備設計業務委託 R9 " " 詳細設計業務委託 R9 " " 整備工事（その1） R10 " " 整備工事（その2） 	スケジュール（今年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・新田9号線1号橋橋梁下整備工事に伴う設計業務委託 4月：発注 7月：完了 ・新田9号線1号橋橋梁下整備工事 9月：発注 12月：完了
公民連携の視点	条例要件 <input type="checkbox"/> ア（複数課題解決） <input type="checkbox"/> イ（地域価値向上） <input type="checkbox"/> ウ（地域経済発展） <input type="checkbox"/> エ（公的負担軽減） <input type="checkbox"/> オ（自立的・持続可能）	本事業については、収益が見込まれない事業であるため導入は不可である。	

3. 事業費等

区分		令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)				
事業費	内訳	報償費						
		旅費						
		需用費		18				
		役務費		196				
		委託料	4,721	2,423	993			
		使用料及び賃借料						
		工事請負費	468,949	182,916	3,960			
		公有財産購入費						
		備品購入費						
		負担金補助及び交付金						
		扶助費						
		補償補填及び賠償金	14,251	4,052	856			
		その他						
	事業費計(千円) a	487,921	189,605	5,809				
	財源内訳	国庫支出金	125,500	10,000				
府支出金								
市債		338,190	89,400					
その他		3,342	1,621					
うち基金繰入金								
一般財源	20,889	88,584	5,809					
人件費	内訳	正職員(人・千円)	0.50	3,960	0.50	3,976		
		再任用職員(人・千円)					0.10	414
		任期付職員(人・千円)					0.50	1,906
		会計年度任用職員(人・千円)			0.50	1,197		
		退職手当引当金繰入額		257		325		
		他課等の協力分						
	人件費計(千円) b		4,217		5,498		2,320	
総事業費 a+b		492,138		195,103		8,129		

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
		令和2年度	令和7年度	
「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	24.7%	54%	市民アンケート

(2) 評価指標

指標	指標名	区分	目標年次	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
			目標値			目標	実績	目標
指標①	水路整備工事の推進	活動	令和10年度	%	目標	57	60	66
			100			実績	57	60
	指標の定義	水路整備工事を行う予定延長L=1,500mのうち、整備工事を行った延長						
指標②	「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	-	30.6	36.4
			54			実績	24.7	35.6
	指標の定義	市民アンケートで「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度						
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

5. 総括

自己点検	事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど
	早期発注に努め、新田1号水路の未整備区間である新田9号線1号橋橋梁下の整備を当初計画通り完了することができた。引き続き計画通り整備が進むように、地元調整等を十分に行い、早期発注に努める。